

# 立 都民の暮らしを全力で守る 足 大島都議候補が決意

日本共産党足立地区委員会は二十五日、区役所内で記者会見し、今期で都議を勇退する渡辺康信氏(六九)に代わり次期都議選(二〇〇九年)に大島芳江・足立区議(五八)を擁立すると発表しました。

今期限りで都議を勇退するのに伴い、後継に大島氏を擁立するに至った経過を説明しました。

あいさつした大島氏は、石原都政について「自治体の目的は、住民福祉の向上にあるのに、福祉は無駄なものという立場に立ち、大型開発を最優先にたくさん税金をつぎ込んで」と批判。「五輪招致のために毎年一千億円を積み立てるお金があるなら、都民の暮らしのために使うべ

きた」とし、「何としても議席を守り抜き、都民の暮らしがよくなるために、全力で頑張りたい」と表明しました。

会見では、宇留野一廣地区委員長が、渡辺氏が

会見に同席した渡辺都議は、大島氏について「区政はもちろん、都政にも精通。都議会でも即戦力になる人です」と紹介。「残る任期の一年半については、都民の期待にこたえるために、引き続き頑張る」とのべました。



大島氏の決意  
大島氏二十五日、足立区

【大島氏の略歴】一九四九年千葉県生まれ。千葉県立東葛飾高校卒。足立区役所勤務。足立区議七期。党区議団長などを歴任、現区議団副幹事長